

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和7年2月5日（水）

【照会先】

鳥羽市広告宣伝戦略委員会

（事務局：鳥羽市役所観光商工課）

担当：勢力

TEL 0599-25-1157

デジタルノマドをゲストに迎えたシンポジウムの開催について



【概要】

鳥羽市広告宣伝戦略委員会では観光客誘致のため、観光関係団体や民間事業者、行政等が創意工夫を凝らした活動を展開しています。

鳥羽市には国内外から多くの観光客が訪れており、かつ、近年はリモートワークの普及により、旅をしながら仕事をする「デジタルノマド」と呼ばれる来訪者の増加が今後想定されます。多様化する来訪者を受け入れるため、観光を目的としていない層にもアプローチが必要であることから、当委員会では、新たな客層の誘致に向けた取り組みとして、デジタルノマドとインフルエンサーによるモニターツアーを実施しました。

このモニターツアーの結果をもとに、次のとおりシンポジウムを開催します。

「新しい観光の在り方会議～デジタルノマド・インフルエンサーの視点を取り入れた鳥羽の観光～」開催

タイトル：鳥羽市制70周年記念事業「新しい観光の在り方会議～
デジタルノマド・インフルエンサーの視点を取り入れた鳥羽の観光～」
～若者が鳥羽市の観光に望むこととは？～

日時：令和7年2月12日（水） 18:00～19:30

会場：toBashare（三重県鳥羽市鳥羽1丁目2-12）

参加者：地域事業者、行政関係者、デジタルノマドなど

ゲスト：水戸り～な氏、Greyson Assa氏

内容：モニターツアーでの検証結果をもとに、デジタルノマド誘客に向けた課題や、観光のあり方について話し合います。またゲストのデジタルノマドを交え、国内外の動向や鳥羽市の可能性についても議論します。

ライブ配信：「恋する鳥羽」のインスタアカウント

(<https://www.instagram.com/koitoba/>) からライブ配信を行います。



参考

モニターツアー参加者の意見（一部抜粋）

- ・宿泊先の旅館オーナーと、長期滞在者や地域住民が交流出来るシェアキッチン構想で盛り上がった。本格的に作ることになったら協力したい。（デジタルノマド）
- ・地域外へ出ることが少ないため、様々な土地を知る人と情報交換が出来る機会があった。（旅館オーナー）
- ・路地を歩きながら、行き交う住民と挨拶をかわすのが楽しかった。（デジタルノマド）
- ・休憩時間中の食堂に招いてもらい、女将さんと雑談をする時間が「暮らしに入らせてもらった」体験として印象的だった。（インフルエンサー）
- ・東京から離島に通う学生の話が面白かった。今後の展開が気になるから再訪しようと思っている。（デジタルノマド）
- ・海女さんによる塩づくり体験で生まれる「にがり」を使った開発中の豆腐を食べさせてもらい、衝撃的に美味しかった。（デジタルノマド）
- ・海女さんが展開する海に携わる事業のブランディングに関わりたと思った。（インフルエンサー）

【ゲストデジタルノマド】

■水戸り～な

合同会社 Reena 代表 | Reena LLC Founder and CEO | 高知県須崎市政策アドバイザー

26 歳。北海道出身。慶應義塾大学とフランスの ESSEC Business School を卒業。コロナ禍にパソコン一つで旅をするノマドになり、20 カ国以上を旅した。新卒で Salesforce Japan に入社

し、2023 年に須崎市で起業。空き家を活用したノマド/起業家支援事業に挑戦中。国境、年齢、性別を超え、須崎と世界を繋ぐ架け橋になる。現在エジプト滞在中。高知県須崎市の拠点には世界中からノマドやクリエイターが集まってきている。2023 年からノマドのための祭典「Nomad Festival」を不定期開催

世界で活躍するデジタルノマド



水戸り～な



Greyson Assa

■Greyson Assa (グレイ)

高知県須崎市サステイナブルデベロップメントアドバイザー

25 歳。スタンフォード大学の環境・サステナビリティ科学の理学士号と理学修士号を取得。スタンフォード大学の食育農場で2年間、有機農業を教えた。また、国連の環境政策に携わる。須崎市および高知県で、再生可能エネルギーや脱炭素化など、環境問題に対する創造的な解決策を見出し、持続可能な循環型システムを目指す。

【照会先】

鳥羽市広告宣伝戦略委員会（事務局：鳥羽市観光商工課）

担当：勢力 TEL 0599-25-1157 E-mail kanko@city.toba.lg.jp